

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			D 建設・整備事業	
事務事業名 橋りょう耐震強化事業		シート番号			19-59	
担当部署名 建設 局		道路 部			道路整備 課 評価責任者(課長名) 金谷	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 20 年度		終了(予定)年度	令和 2 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	道路法、河川法、港湾法、鉄道営業法			
	4	関連計画	堺市地域防災計画、堺市国土強靱化地域計画、堺市津波避難計画、堺市橋梁耐震事業計画、堺市橋梁長寿命化修繕計画			
5	事業実施の経緯	阪神淡路大震災での教訓を踏まえ、大規模災害時の救急救命活動や救援物資の輸送、復旧支援活動を支えるために、緊急交通路を管理する国、高速道路、都道府県などの道路管理者が橋りょうの耐震強化事業を進めている。 本市においては、平成18年の政令市移行に伴い、大阪府から管理を引継いだ緊急交通路等における橋りょうの耐震強化事業を進めている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	・大規模災害時における救助、救急、医療、消火、緊急物資等の供給に携わる災害支援者及び災害時要援護者 ・橋りょうを通行する人及び車並びに施設沿道の住民及びその財産				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	市民の命と暮らしを守るため、今後想定される南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、救急救命活動や救援物資の輸送、復旧支援活動を支えるために、「命の道」となる緊急交通路や津波避難路等に関する橋りょうの耐震化を行い、災害に強いまちづくりを推進する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	今後想定される南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、以下の橋りょう耐震3強化プログラムを計画的に実施し、災害に強いまちづくりを推進する。 ① 緊急交通路や鉄道等に関する橋りょうの耐震化 ② 堺市で最も橋長の長い大浜高架橋(橋長約2km、橋脚65脚)の耐震化 ③ 大津波襲来に備え、市指定の津波避難路に架かる橋りょうの耐震化 令和元年度は、大型事業である「大浜高架橋」及び鉄道を跨ぐ「昭代橋」などの耐震化を進め、令和2年度末までに重要橋りょう150橋の耐震化完了を目指す。 また、緊急交通路を補完する道路などに関する橋りょう(緊急交通路等を跨ぐ横断歩道橋を含む)の耐震化については、今年度から本格的に工事着手する。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 業務並びに工事の受注者、西日本旅客鉄道株式会社					

Ⅲ. 投入量

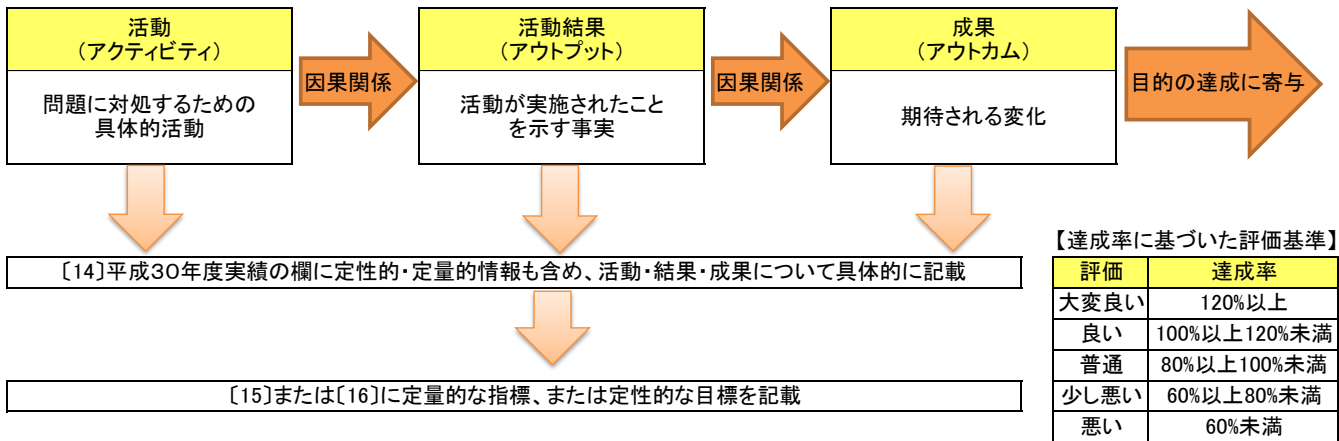
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	2,010,457	2,552,247	1,895,764	2,758,000	
	主な事業費内訳	委託料等	千円	235,707	307,656	201,599	607,000
		工事費	千円	1,718,038	2,118,602	1,639,422	2,151,000
		負担金等	千円	56,713	125,989	54,743	0
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円	869,915	1,082,026	823,414	872,891
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円	1,014,700	1,305,600	961,200	1,649,100
		その他( )	千円				
		一般財源	千円	125,842	164,621	111,150	236,009
12	人件費 (b)	千円	49,200	49,200	49,200	40,500	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	2,059,657	2,601,447	1,944,964	2,798,500	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	橋りょう耐震強化事業	シート番号	19-59
-------	------------	-------	-------

### ≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績							
14	活動実績と成果	<p>平成30年度は、重要橋りょう150橋のうち8橋の耐震工事を完了させるとともに、緊急交通路を補完する道路などに関する橋りょう(緊急交通路等を跨ぐ横断歩道橋を含む)の耐震化についても着手し、新たに11橋の耐震工事と10橋の耐震設計業務の発注を行った。これらの活動の結果、重要橋りょうの耐震化率は90%となり、災害に強いまちづくりを推進するとともに、市民の安全・安心の確保につながった。</p>					
15		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		工事発注数	橋	目標値	12	14	11
			実績値	12	14	11	
			達成率	100%	100%	100%	
			評価	良い	良い	良い	
		算出方法・設定根拠など		耐震工事を発注した橋りょう数を表す。目標は、発注予定工事の規模や予算等から設定。			
16		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
		耐震化率	%	目標値	78	89	97
			実績値	73	85	90	
			達成率	94%	96%	93%	
			評価	普通	普通	普通	
		算出方法・設定根拠など		重要橋りょう150橋のうち、耐震化が完了している橋りょうの割合(耐震化完了数/150橋)を表す。「堺市マスタープラン」に基づき、令和2年度における耐震化率100%を目標に設定。			

#### 業績の分析

17	業績の分析	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>耐震補強部材の取付に必要な高力ボルトの供給不足などの外的要因により、耐震化率については予定より実績がやや下回ったが、耐震工事や設計業務は計画どおり発注しており、計画的に事業を遂行できている。</p>
----	-------	--

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。